



東地中海地域ニュース

シリア：イスラエル・ボイコット会合の開催 (4月29日付現地報道)

4月23日 - 26日にダマスカスにて第78回アラブ連盟「イスラエル・ボイコット連絡間会合」が開催された。

1. 参加国（14カ国）・国際機関（2機関）：

シリア、サウジアラビア、スーダン、アルジェリア、UAE、モロッコ、リビア、レバノン、クウェイト、カタール、パレスチナ、チュニジア、イエメン、イラク
アラブ連盟、OIC

2. 欠席（8カ国）：

エジプト、ヨルダン、バハレーン、オマーン、ソマリア、コモロ、ジブチ、モーリタニア

3. 最終声明（4月26日付シリア国营通信社）

- (1) シリアは国際的に正当な決議等に基づき、ゴラン高原を回復する権利を有する。シリアに対する継続的な圧力を拒否する。イスラエルの占領に直面するゴラン高原のアラブ住民の断固とした立場を支援する。シリアに課された不当な経済制裁を拒否する。
- (2) 公平且つ包括的な中東和平は戦略的な選択であり、エルサレムを首都としたパレスチナ国家の樹立及びアラブ占領地からのイスラエルの全面的撤退がなくしては、中東和平は達成できない。
- (3) パレスチナ人民に対するイスラエルの行ったおぞましい大虐殺を非難する。
- (4) イラクの団結・安定の維持が必要である。イラク人民がこの危機を脱し、全てのイラク国民の間で国民的結束を達成できることを確信する。
- (5) レバノン国民の断固とした立場及びイスラエルの攻撃に対する勇敢な抵抗運動を高く評価する。抵抗運動によって達成された勝利がレバノンの安全・安定に向けた道のりに立ちふさがる障害を克服する出発点になることを希望する。
- (6) スーダンを支援する。ダルフール危機への取組みにおけるスーダン政府、アラブ連盟、アフリカ連合、EUによって行われた努力を高く評価する。